



SECカーボン

2026年3月期第1四半期 決算説明資料

2025年8月8日

東証スタンダード **5304**

SECカーボン株式会社

目次

- 01. 2026/3期1Q 連結決算概要 p2
- 02. 2026/3期 連結決算見通し p7
- 03. APPENDIX p15

2026/3期1Q 連結決算概要

01.

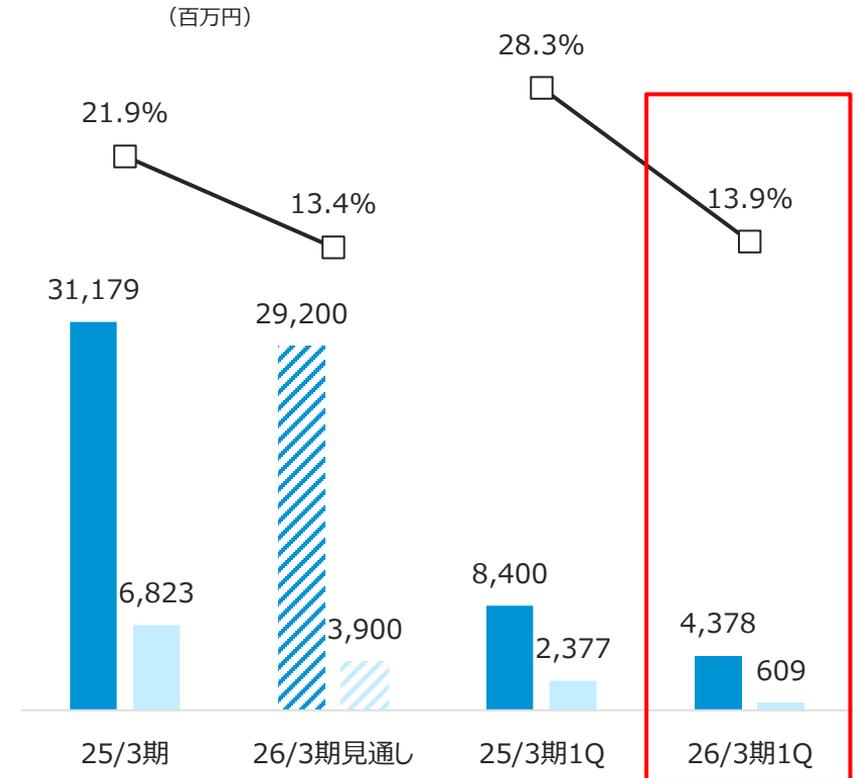
■ 売上高 ■ 営業利益 □ 同利益率

● 2026/3期1Q : 販売量減少により減収減益

- ✓ 48%減収、74%営業減益
営業利益率は14.4pp低下
- ✓ 円高推移に加え、取引先在庫調整の影響から数量・価格ともに伸び悩み減収減益

● 2026/3期見通し : 上期在庫調整、下期回復へ

- ✓ 6%減収、43%営業減益を想定。
為替前提は前期実績比で約13円円高の140円/USD
- ✓ ただし、業績ボトムは在庫調整が継続する上期と想定。
下期は在庫調整解消により、回復を見込む



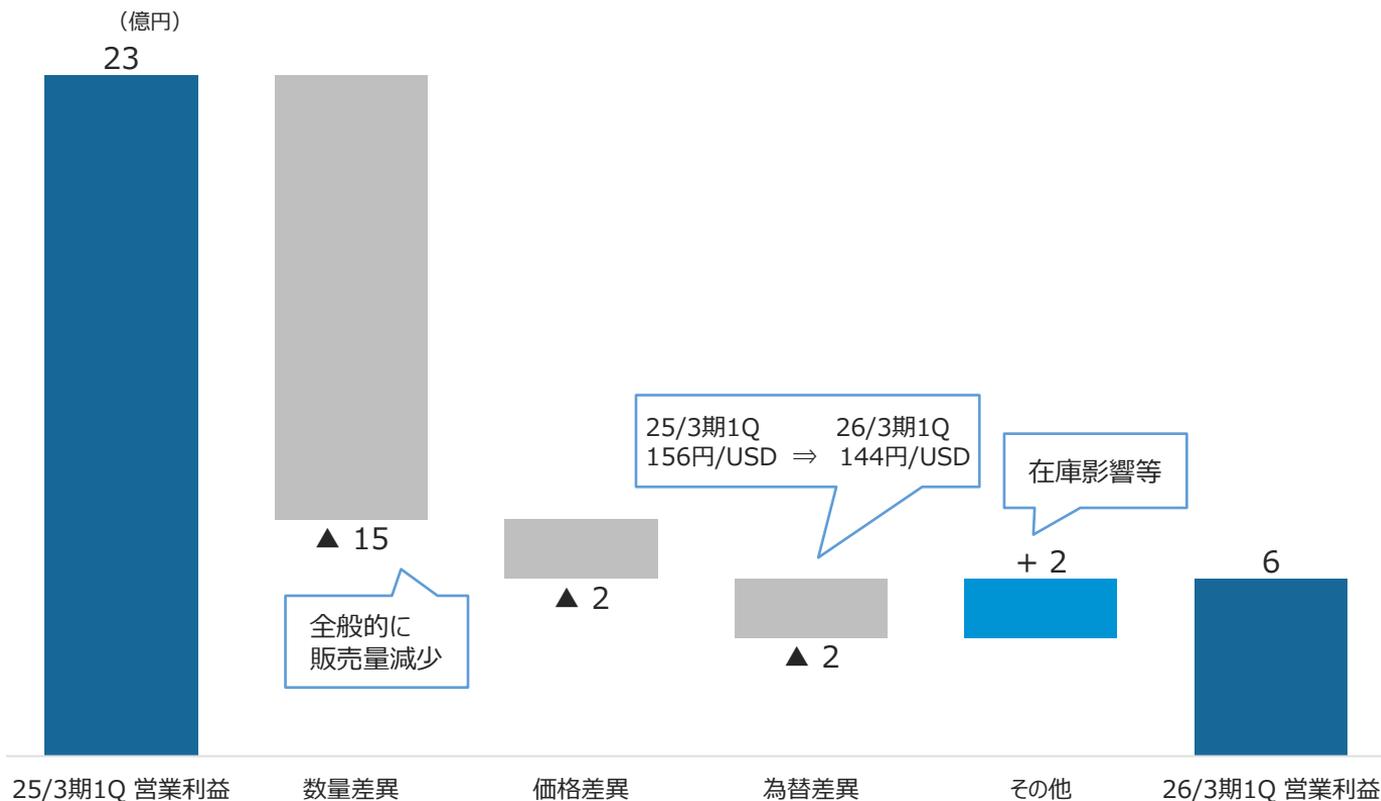
- 前期比48%減収。アルミ製錬用カソードブロックが、取引先在庫調整継続により大幅に減収
- 損益も減収影響及び円高により、大幅減益
- 上期中は、販売量は低調の想定であることから、上期見通しに対する進捗は、概ね想定通り

百万円	2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	前期1Q比較		2026/3上期	
			増減額	増減率	見通し	進捗率
売上高	8,400	4,378	▲ 4,022	▲ 47.9%	11,100	39.4%
アルミニウム製錬用カソードブロック	6,273	2,485	▲ 3,788	▲ 60.4%	6,400	38.8%
人造黒鉛電極	1,016	1,010	▲ 6	▲ 0.6%	2,600	38.9%
特殊炭素製品	828	691	▲ 136	▲ 16.5%	1,700	40.7%
ファインパウダー/その他炭素製品	281	190	▲ 91	▲ 32.5%	400	47.6%
営業利益	2,377	609	▲ 1,767	▲ 74.4%	1,000	61.0%
営業利益率	28.3%	13.9%	▲ 14.4pp	-	9.0%	-
EBITDA*	2,684	891	▲ 1,793	▲ 66.8%	1,700	52.4%
EBITDAマージン	32.0%	20.4%	▲ 11.6pp	-	15.5%	-
経常利益	3,125	948	▲ 2,177	▲ 69.6%	1,500	63.2%
親会社株主帰属当期純利益	2,276	672	▲ 1,604	▲ 70.5%	1,000	67.2%
輸出比率	80.4%	61.0%	▲ 19.4pp	-	67.6%	-
期中為替レート (円/USD)	156.32	144.07	▲ 12.25	-	140.00	-

*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

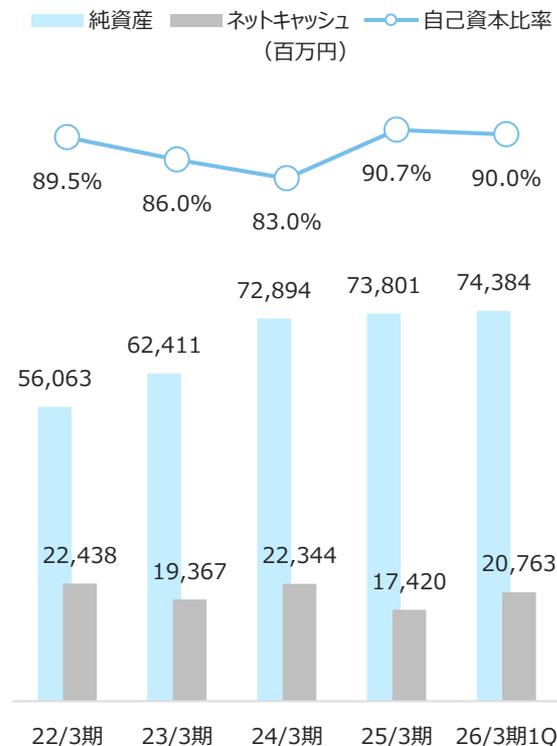
2026/3期1Q 営業利益 増減益分析

- 大幅営業減益の主因は販売量減少
特に、カソードブロックの取引先在庫調整の影響大きい
- 価格是正に取り組むも、全般的には軟調に推移。
また、為替も円高となり、円換算の輸出価格押し下げ
- なお、カソードブロックの低調な販売量は上期までは継続するが、下期より回復の見込み



- 売上債権の回収により現預金増加
- 設備更新工事の進捗により、現預金の一部は有形固定資産に振替。
投資有価証券の増加は、保有株式の時価上昇による
- 自己資本比率は90%、ネットキャッシュは207億円であり、財務体質は健全維持。
今後、キャッシュを成長投資に振り向ける

百万円	2025/3期	2026/3期1Q	増減額
流動資産	45,824	45,609	▲ 215
現預金	17,420	20,763	3,343
受取手形・売掛金	9,266	5,580	▲ 3,686
棚卸資産	17,853	18,758	904
固定資産	35,570	37,028	1,457
有形固定資産	17,623	17,735	111
投資有価証券	17,724	19,071	1,347
総資産	81,395	82,637	1,241
負債	7,593	8,252	658
買掛金	1,586	1,908	321
未払法人税等	564	717	152
純資産	73,801	74,384	582
利益剰余金	54,701	54,371	▲ 329
負債・純資産合計	81,395	82,637	1,241



2026/3期 連結決算見通し

※決算見通しは、2025年5月14日短信開示内容から変更なし

02.

- 6%減収、43%営業減益を想定。営業利益率は13%と4期ぶりの低水準を見込む。為替前提は140円/USD

- 主力のカソードブロックは、取引先の在庫調整はしばらく継続を織り込む

- ただし、半期別にはトレンドが変化。下期は在庫調整解消を見込み、対上期で大幅増収増益転換を想定

- 売上高に占める米国向けの輸出は多くないため、米国関税影響は軽微だと想定。現時点では間接的影響を織り込まず

百万円	2025/3期	2026/3期見通し	増減額	増減率
売上高	31,179	29,200	▲ 1,979	▲ 6.3%
アルミニウム製錬用カソードブロック	22,002	19,100	▲ 2,902	▲ 13.2%
人造黒鉛電極	4,524	5,500	+976	+21.6%
特殊炭素製品	3,653	3,700	+47	+1.3%
ファインパウダー/その他炭素製品	998	900	▲ 98	▲ 9.8%
営業利益	6,823	3,900	▲ 2,923	▲ 42.8%
営業利益率	21.9%	13.4%	▲ 8.5pp	-
EBITDA*	8,127	5,840	▲ 2,287	▲ 28.1%
EBITDAマージン	26.1%	20.0%	▲ 6.1pp	-
経常利益	7,716	5,000	▲ 2,716	▲ 35.2%
親会社株主帰属当期純利益	5,750	3,300	▲ 2,450	▲ 42.6%
輸出比率	76.6%	74.1%	▲ 2.5pp	-
期中為替レート (円/USD)	152.76	140.00	▲ 12.76	▲ 8.4%

*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

百万円	2025/3期				2026/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q見通し**	下期見通し
売上高	8,400	7,983	7,359	7,435	4,378	6,721	18,100
アルミニウム製錬用カソードブロック	6,273	5,833	5,306	4,588	2,485	3,914	12,700
人造黒鉛電極	1,016	1,087	931	1,488	1,010	1,589	2,900
特殊炭素製品	828	818	863	1,142	691	1,008	2,000
ファインパウダー及びその他炭素製品	281	244	257	215	190	209	500
営業利益	2,377	2,201	1,719	525	609	390	2,900
営業利益率	28.3%	27.6%	23.4%	7.1%	13.9%	5.8%	16.0%
EBITDA*	2,684	2,516	2,058	866	891	808	4,140
EBITDAマージン	32.0%	31.5%	28.0%	11.6%	20.4%	12.0%	22.9%
経常利益	3,125	1,693	2,472	424	948	551	3,500
親会社株主帰属当期純利益	2,276	1,285	1,712	475	672	327	2,300
輸出比率	80.4%	77.9%	76.0%	71.7%	61.0%	67.6%	78.2%
期中為替レート (円/USD)	156.32	149.83	152.94	151.65	144.07	140.00	140.00

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

** 2Q見通しは、2025年5月14日開示の上期見通しから1Q実績を差し引いた数値

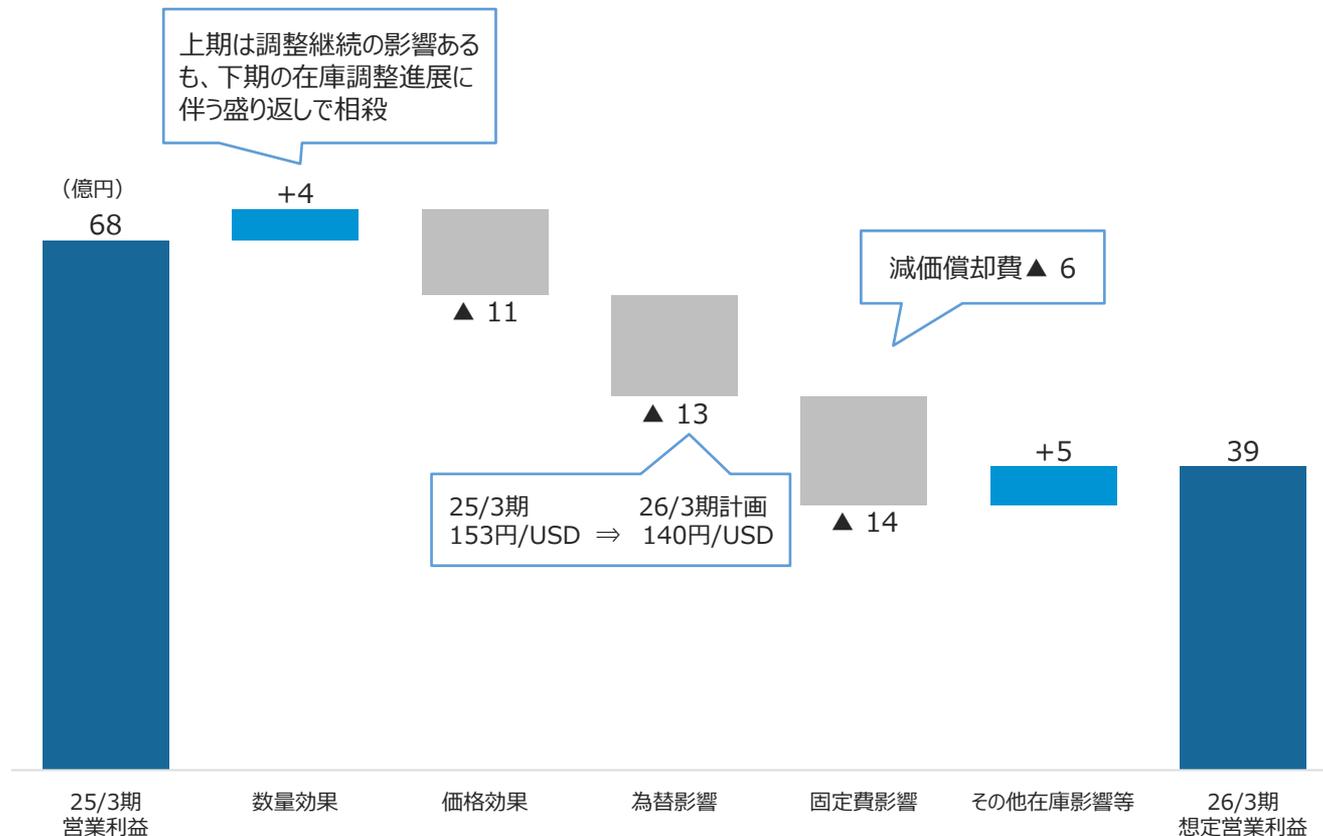
アルミニウム製錬用カソードブロック売上見通し

- 主力のアルミニウム製錬用カソードブロックの売上は、上期と下期で大きく転換を想定
- 上期は取引先在庫調整の継続リスクを想定。また、通常の在庫調整に加え、世界景気の先行不透明感台頭により、取引先も慎重な姿勢を採る公算大
- 一方、下期は在庫調整解消へ。世界のアルミ製錬の需要は堅調であり、在庫調整も長期化には限界がある。上期まで調整が継続する反動もあり、急回復を予想

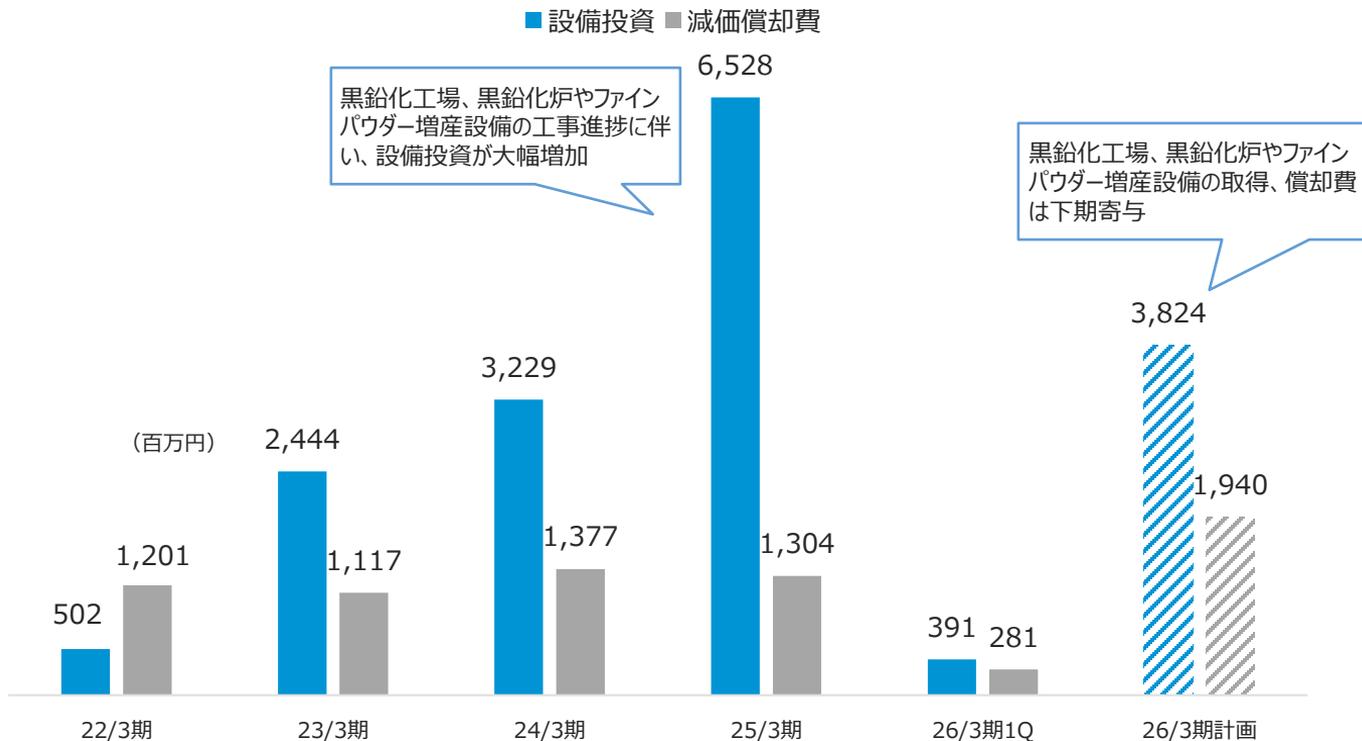


2026/3期営業利益見通し 想定増減益分析

- 下期回復を見込むも、通期では価格低下、円高進行、投資拡大による償却費用増などが影響。大幅減益を見込む
- なお、数量面では若干の増益寄与を想定。上期は在庫調整の影響あるも、下期の回復効果で相殺
- 為替感応度は、1円/USDにつき、営業利益約1億円/年

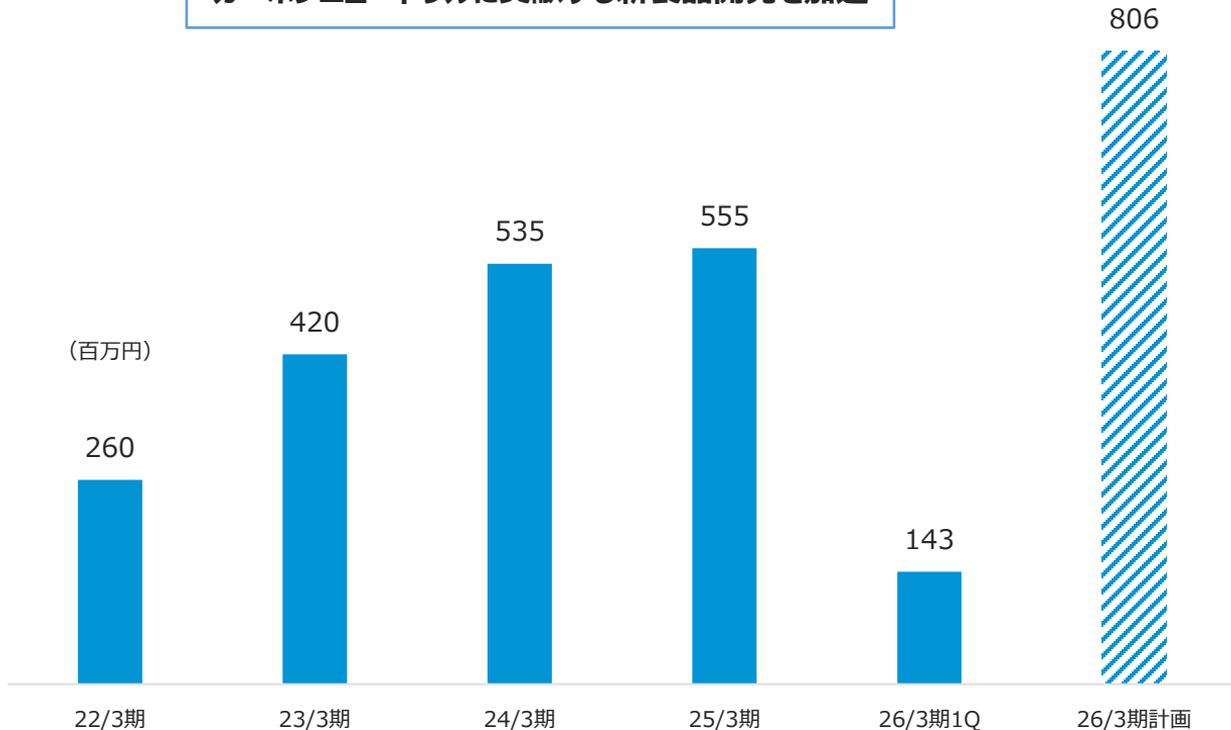


- 26/3期下期より黒鉛化工場、黒鉛化炉やファインパウダー増産設備の本稼働が開始される予定であり、減価償却負担増加見込み。
- 1Qの設備投資は少額案件のみ



- 新規開発品やCO₂資源化等において産官学の共同研究に取り組んでおり、当該共同研究の進展に伴い、研究開発費は増加傾向
- 新たな収益源のため、新製品開発への支出増加を計画

カーボンニュートラルに貢献する新製品開発を加速



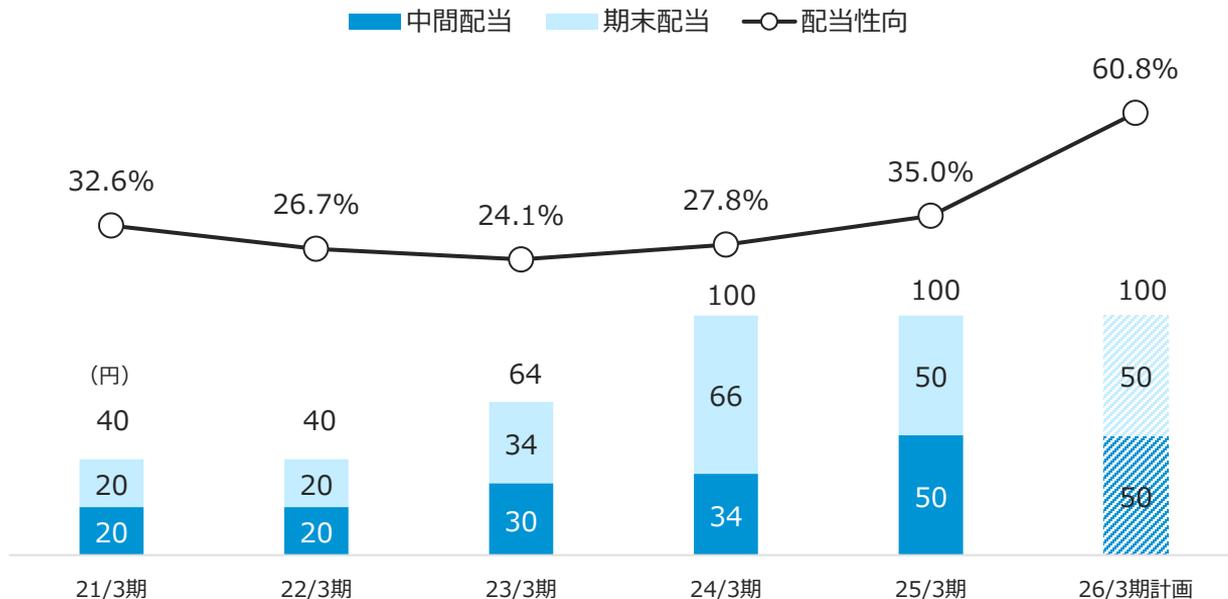
- 26/3期は、配当方針に則り、25/3期と同額の年間100円配当を計画

配当方針

収益性の向上と財務の健全性を図りつつ、連結配当性向30%を目安に永続的かつ安定的に実施

自己株式取得方針

業績の動向、資本の状況、市場環境等を考慮の上、機動的に実施



(注) 1株当たり配当金：2024年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。比較のために、2021/3期期首に株式分割を行ったと仮定して記載

APPENDIX

03.

参考指標（連結）

項目	単位	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期
設備投資	百万円	1,578	502	2,444	3,229	6,528
減価償却費	百万円	1,473	1,201	1,117	1,377	1,304
研究開発費	百万円	151	260	420	535	555
金融収支	百万円	225	262	526	725	960
売上高	百万円	21,299	22,919	30,401	37,307	31,179
海外売上比率	%	62.6	65.2	72.8	80.5	76.6
期中為替レート	円/USD	106.25	112.89	134.84	145.34	152.76
営業利益	百万円	3,081	3,222	6,490	10,217	6,823
EBITDA	百万円	4,554	4,423	7,607	11,595	8,127
親会社株主帰属当期純利益	百万円	2,496	3,039	5,402	7,299	5,750
ROE	%	4.8	5.6	9.1	10.8	7.8
営業CF	百万円	3,367	7,615	2,337	7,794	4,548
実質投資CF	百万円	▲ 1,993	▲ 944	▲ 4,319	▲ 3,389	▲ 5,974
実質FCF	百万円	1,373	6,671	▲ 1,981	4,404	▲ 1,426
財務CF	百万円	▲ 1,032	▲ 826	▲ 1,027	▲ 1,393	▲ 2,989
現金及び現金同等物	百万円	16,385	22,188	19,087	9,424	5,070
1株当たり年間配当金	円/株	40	40	64	100	100
配当性向	%	32.6	26.7	24.1	27.8	35.0

(注) 1株当たり配当金：2024年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。比較のために、2021/3期期首に株式分割を行ったと仮定して記載

会社名	SECカーボン株式会社 (SEC CARBON, LIMITED)
本社所在地	兵庫県尼崎市潮江1-2-6 JRE尼崎フロントビル6階
設立	1934年10月23日
代表者	中島 耕
資本金	59億円 (2025年3月31日現在)

役員	代表取締役会長	大谷 民明
	代表取締役社長	中島 耕
	取締役	長谷川 和重
	取締役	田畑 洋
	取締役	岩井 清一
	社外取締役	大谷 壽一
	社外取締役	森 千春
	常勤監査役	井上 雅文
	常勤監査役	森下 宏也
	社外監査役	岡 和彦
社外監査役	片岡 万枝	

事業内容

アルミニウム製錬用カソードブロック、人造黒鉛電極、特殊炭素製品、ファインパウダー及びその他炭素製品の製造販売

売上高	総資産	従業員数
311億円 (2025/3期)	813億円 (2025/3期)	273名 (2025/3期)

事業所

本社・京都工場・岡山工場・東京事務所・名古屋営業所

社名の由来

設立時の社名「昭和電極(株) (SHOWA ELECTRODE Co.)」の頭文字を取って「SECカーボン」

連結子会社

東邦カーボン

製品		用途	主要顧客
<p>アルミニウム製錬用 カソードブロック (SK-B®)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● アルミニウム製錬工場の電解炉において、アルミナを電気分解する際のカソード(陰極)として使用される 	<p>海外アルミ製錬企業。 全量が輸出され、 中近東だけで4割弱を占める</p>
<p>人造黒鉛電極</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● 電気を用いて鉄スクラップを溶解し、建設現場で使われるH形鋼や棒鋼などを生産する製鋼用の黒鉛電極 	<p>電炉メーカー 国内企業向けが7割以上</p>
<p>特殊炭素製品</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● 基幹産業から先端分野まで、耐熱性、電気伝導性、耐食性など、カーボンの特性を活かした工業部材として使用される 	<p>非鉄金属メーカー 工業炉メーカー等</p>
<p>ファインパウダー (高純度黒鉛粉末)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● ブラシ用、シール材用、ブレード材用、リチウムイオン二次電池関係などの部材として使用される 	<p>自動車関連メーカー 家電関連メーカー等</p>

*詳しくは、当社ホームページ <https://sec-carbon.com> へ

アルミニウム製錬用カソードブロック

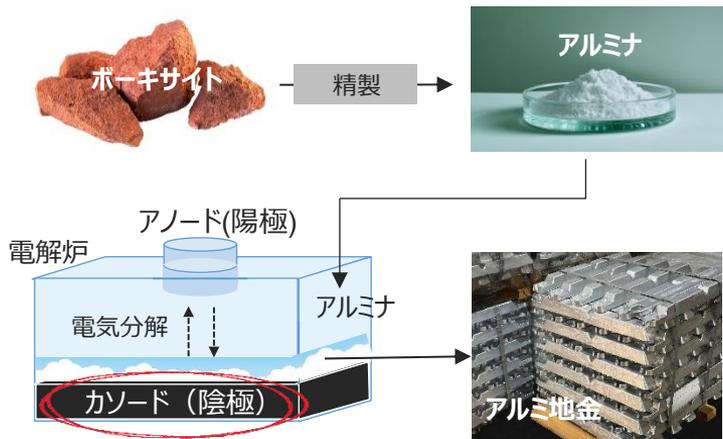
概要

アルミニウム製錬用
カソードブロック
SK-B®



● 用途

- アルミ製錬工程におけるアルミナ電気分解の際のカソード（陰極）として必要不可欠な材料



特徴

- ① **黒鉛化された高品質カソードブロックのパイオニア**
 - ✓ 1970年、世界で初めてカソードブロック全体の黒鉛化を実現
 - ✓ 現在は当社製品のような黒鉛化ブロックと従来品である非黒鉛ブロックの2製品が併存

- ② **世界シェア約40%***

*中国除く黒鉛化カソードブロック市場における当社推定値

- ③ **従来品比で使用電力（温室効果ガス）削減に貢献**

- ✓ 非黒鉛から黒鉛化カソードブロックへの転換で、

3.4%

の電力使用量削減効果

- ④ **100%輸出**

- ✓ アルミ製錬企業は日本に存在せず

人造黒鉛電極

● 充実した販売ネットワーク

当社の黒鉛電極は、世界のあらゆる国々で使用されており、グローバルな販売ネットワークにより、世界中に安定した製品提供を実現



特殊炭素製品

- 熔融塩電解・水溶液電解、冶金・金属精錬、等で活用

海外出荷実績

20か国以上

押出特炭生産能力

5,000トン以上/年

ニーズ対応力

オーダーメイド
大型・特殊加工
国内一貫生産による
安定品質

ファインパウダー

- 需要家の用途に応じて選べるよう豊富なシリーズとサイズ
- 業界最先端を誇る超高純度5ナイン（99.999%）を達成

取引実績

800社以上

黒鉛粉末の
パイオニア

Since 1986年

ラインナップ

品揃え30種類以上

ご留意点

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ先
SECカーボン株式会社 総務広報部
06-6491-8600 (代表)
<https://sec-carbon.com/contact/>